

生産性を阻む要因分析（プレゼンティーイズム）

実際に就業している状態での身体やこころに関する不調を特定します。

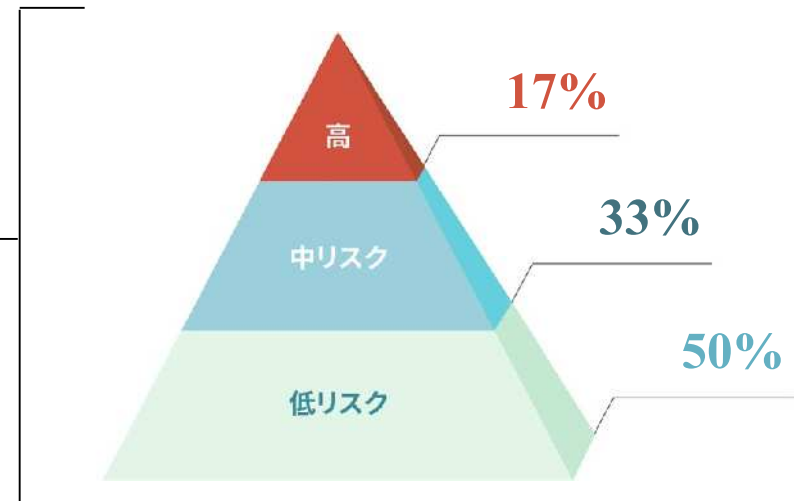


各健康リスク項目に該当する従業員比率を見える化すると同時に、リスクピラミッドで高リスク～低リスク従業員の比率も概観します。先行研究によれば表中、網掛けをした項目がプレゼンティーイズムと有意な相関関係があるとされています。※1

健康リスク評価項目と従業員の該当率

健康リスク	項目	従業員の該当率
生活習慣	喫煙習慣あり	37%
	飲酒習慣あり	17%
	運動習慣なし	85%
	睡眠休養不十分	57%
疾病・病気	不定愁訴あり	20%
メンタルヘルス	主観的健康感不良	11%
	生活満足度低	15%
	仕事満足度低	22%
	ストレス高	28%

従業員の健康リスク評価該当数による分類



生活習慣、疾病・病気、メンタルヘルスの9項目の該当数から、回答者の健康リスクを評価し、高、中、低の三つのリスク群に分類します。

1. 該当したリスク数を足し算

2. 健康リスクを評価（標準）

- リスク数： 0-2 ⇒ 低リスク
- リスク数： 3-4 ⇒ 中リスク
- リスク数： 5- ⇒ 高リスク

プレゼンティーイズムは健康リスクの上昇に伴って増加する構造であることが指摘されています。※1

低リスク者の割合が50%以上となることが望ましいとされています。

※1 日本労働研究雑誌

平成30年6月号「中小企業における労働生産性の損失とその影響要因」
東京大学 古井・村松・井出